



週間情報



No.3043

発行日 平成30年11月13日

発行所 全国消防長会

一般財団法人 全国消防協会

担当 企画部企画課 03(3234)1321

両会の動き

◆ 平成30年度全国消防長会役員会を開催

全国消防長会

平成30年11月1日（木）、徳島県徳島市のJRホテルクレメント徳島（4階クレメントホール西・中）において、平成30年度全国消防長会役員会を開催しました。

役員会における議案審議及び報告事項は次のとおりです。

【議案審議】

- 1 平成31年度消防財源の確保について
- 2 緊急通報受理回線の光IP化に係る料金等について
- 3 危険物輸送車両の立入検査で交付するステッカーの新元号への対応等について
- 4 第42回全国消防職員意見発表会の開催及び実施要領について
- 5 全国消防職員意見発表会のあり方に関するアンケート調査について
- 6 第3回予防業務優良事例表彰について
- 7 次期役員会の開催について

【報告事項】

- 1 平成31年度国の予算概算要求等における措置状況について
- 2 消防職員委員会の組織及び運営の基準の一部改正等について
- 3 消防吏員の色覚検査に係る消防庁の動向等について
- 4 G20大阪サミット消防・救急対策委員会について
- 5 防災推進国民大会2018への出展結果について
- 6 法制執務研修会及び広報事務担当者研修会について
- 7 平成31年度消防機器の改良及び開発並びに消防に関する論文の作品募集について
- 8 第48回全国消防救助技術大会の日程等について

【配布資料】

- 1 一般財団法人 全国消防協会の消防団体保険について



【役員会の様子】

◆ 全国消防長会常任理事会を開催

全国消防長会

平成30年11月1日（木）、徳島県徳島市のJRホテルクレメント徳島（4階クレメントホール東）において、全国消防長会常任理事会を開催しました。

常任理事会における議案審議は次のとおりです。

【議案審議】

- 1 平成31年度消防財源の確保について
- 2 緊急通報受理回線の光IP化に係る料金等について
- 3 危険物輸送車両の立入検査で交付するステッカーの新元号への対応等について
- 4 第42回全国消防職員意見発表会の開催及び実施要領について
- 5 全国消防職員意見発表会のあり方に関するアンケート調査について
- 6 第3回予防業務優良事例表彰について
- 7 次期常任理事会の開催について
- 8 次期役員会の開催について

【報告事項】

役員会と同内容のため省略

【配布資料】

役員会と同内容のため省略



【常任理事会の様子】

◆ 一般財団法人 全国消防協会通常理事会・臨時評議員会を開催

一般財団法人 全国消防協会

平成30年11月1日（木）、徳島県徳島市のJRホテルクレメント徳島（3階金扇西）において、一般財団法人 全国消防協会通常理事会及び臨時評議員会を開催しました。

通常理事会及び臨時評議員会における議案審議及び報告事項については次のとおりです。

○ 通常理事会

【議案審議】

- 1 平成30年度収支予算の補正（案）について
- 2 臨時評議員会の開催について

【報告事項】

- 1 次期通常理事会の開催について
- 2 平成31年度全国優良消防職員表彰式の日程及び地区支部別表彰推薦割当人員等について
- 3 第48回全国消防救助技術大会の日程等について
- 4 平成31年度消防機器の改良及び開発並びに消防に関する論文の作品募集について

○ 臨時評議員会

【議案審議】

- 1 平成30年度収支予算の補正（案）について

【報告事項】

- 1 臨時評議員会の開催について
- 2 平成31年度全国優良消防職員表彰式の日程及び地区支部別表彰推薦割当人員等について
- 3 第48回全国消防救助技術大会の日程等について
- 4 平成31年度消防機器の改良及び開発並びに消防に関する論文の作品募集について



【通常理事会の様子】



【臨時評議員会の様子】

◆ 平成30年度全国消防長会技術委員会第2回常任委員会を開催

全国消防長会技術委員会

平成30年10月25日（木）、兵庫県西宮市（ホテルヒューイット甲子園）において、平成30年度全国消防長会技術委員会第2回常任委員会を開催しました。

会議における報告事項等については、次のとおりです。

【報告事項】

- 1 ISO/TC94/SC14 国際会議の結果について

【議案審議】

- 1 消防専用シャシのPTO及び駆動伝達装置の脆弱性について
- 2 緊急通報受理回線の光IP化後の提供料金について
- 3 グループ討議のグループ編成について
- 4 2019年全国消防長会技術委員会第2回常任委員会の開催地等について
- 5 第98回全国消防長会技術委員会の開催地について
- 6 第99回全国消防長会技術委員会の開催支部について

【情報提供】

共同電話回線を利用した通報装置について



【委員会の様子】

◆ 平成30年度全国消防長会総務委員会秋季常任委員会を開催

全国消防長会総務委員会

平成30年11月7日（水）、京都府京都市（無鄰菴）において、平成30年度全国消防長会総務委員会秋季常任委員会を開催しました。

会議における議題等は、次のとおりです。

【議題等審議】

- 1 定年引上げ等に対する高齢者雇用の環境整備について
- 2 秋季常任委員会の開催地に関する申し合せについて
- 3 常任委員会の次期開催地について



【委員会の様子】

◆ 平成30年度違反是正推進連絡会を開催

全国消防長会北海道支部道央地区協議会

全国消防長会北海道支部道央地区協議会では、平成30年11月2日（金）、小樽市消防庁舎において、違反是正推進連絡会を開催し、道央地区を構成する19消防本部（局）から委員を含めて、延べ51名の職員が出席されました。

会議の前半では、本年6月、小樽市で当地区協議会が開催した「消防法令違反是正実務研修」において、6消防本部が持ち込んだ重大違反对象物に対する是正指導の結果を、各消防本部担当者から報告していただきました。報告後には、来年度開催予定の「消防法令違反是正実務研修」を、より充実した研修にするための検討を行いました。

後半は、総務省消防庁「弁護士相談事業」で北海道地区を担当されている伊藤・大出法律事務所の伊藤考一弁護士を講師に迎え、「消防に対する賠償責任～違反処理における訴訟とは～」と題して基調講演をいただくとともに、裁判における消防の関わりについて教養していただいたことで、違反処理に対して漠然と抱いていた「訴訟」に対する不安が払拭されました。



【事案報告・検討会】



【伊藤弁護士からの講義】

消防本部の動き

行事

◆ いばらき安全安心フェスタを開催

茨木市消防本部（大阪）

茨木市消防本部では、平成30年10月27日（土）、市役所前のグラウンドで、消防・警察などの関係機関が協力して、「いばらき安全安心フェスタ」を開催しました。

ミニ消防車の試乗、消火体験、応急手当体験、ロープ渡過体験、消防・警察車両の展示などのコーナーを設けるとともに、ステージでは消防音楽隊の演奏、児童防災教室「防災ダック」、大阪府警察本部の防犯教室、阪神救助犬協会の災害救助犬デモンストレーションなどを行いました。

イベント当日は、約3,000人の来場者があり、各コーナーや演技等を楽しんでもらいながら、安全・安心への関心を高めていただくことができました。



【ロープ渡過体験】



【消防音楽隊による演奏】

◆ 消防フェスティバルを開催

東山梨行政事務組合東山梨消防本部（山梨）

東山梨行政事務組合東山梨消防本部では、平成30年10月28日（日）、甲州市において開催された「甲州市およっちょい祭り」の会場内において、住民の防火・防災意識の高揚及び消防への理解向上を図るため「消防フェスティバル」を開催しました。

フェスティバルでは、消防車両の展示・乗車体験、子ども用防火衣の試着・写真撮影、消火体験、地震体験、煙体験、防火ぬり絵、住宅用火災警報器のPR及びスタンプラリーを実施し、多くの来場者に、防火・防災について学んでいただきました。

来場者からは、「消防車両を間近でみるのができて楽しかった。」「実際に消火方法や地震体験などができて勉強になった。」など、多くの声が聞かれました。

今後も、防火・防災啓発等のPRを続け、火災予防に努めていきたいと思っております。



【イベントの様子】

◆ 消防・防災フェスタ2018を開催

伊賀市消防本部（三重）

伊賀市消防本部では、平成30年10月28日（日）、秋の火災予防運動を迎えるにあたり、市民を対象に、「消防・防災フェスタ2018」を開催しました。

イベント当日は、天候にも恵まれ、約1,200人の来場客で賑わい、避難体験や放水体験などの消防ブース、地元企業の協力でVRによる消火体験、最新消防車両・伊賀警察署の特殊車両展示、自衛隊による豚汁の炊き出し、幼年消防クラブによる防災マジックショーなどを実施しました。

子供たちが、消防車両や放水体験等に興味を示し、たくさんの笑顔も見られ、有意義な消防・防災のPRイベントとなりました。

今後とも、消防への理解を深めて頂けるよう、PR活動を続けていきたいと思っております。



【最新消防車両等の展示】



【防火クイズ・バルーンアートコーナー】

◆ 外国人のための消防体験会を開催～「外国人を地域の一員に！」を目指して～

真庭市消防本部（岡山）

真庭市消防本部では、平成30年10月28日（日）、真庭市内の企業の協力のもと、外国人を対象にした消防体験会を開催しました。

真庭市では、年々、外国人市民と外国人観光客が共に増加しており、今後も更なる外国人の増加が予想されることから、消防体験会を開催し、救急体験及び地震・火災を想定した避難訓練を実施しました。

救急体験では、3者通話による119番通報体験及び救急隊による多言語翻訳アプリ「救急ボイストラ」を活用したシミュレーション訓練を行い、避難訓練では、地震を想定したシェイクアウト訓練やフリップボードを活用した避難訓練を行うなど、有事の際の行動を再確認しました。

今後も、外国人を対象とした体験会を継続的に開催するとともに、地域の防災訓練に参加を呼びかけるなど、外国人も地域の一員となる安心・安全なまちづくりに努めます。



【救急体験の様子】



【体験会後の記念写真】

◆ 消防フェア2018を開催

八千代市消防本部（千葉）

八千代市消防本部では、平成30年11月3日（土）、イオンモール八千代緑が丘において、「防火・防災・救命」への関心を高めていただくことを目的に、消防フェア2018を開催しました。

イベント当日は、はしご車搭乗体験、消防団車両乗車体験、放水体験、登はん体験、子ども渡過体験、心肺蘇生法体験など、大人から子どもまで楽しめる体験型イベントをはじめ、消防音楽隊による演奏、住宅用火災警報器等普及啓発相談、特別救助隊による救出訓練、消防団紹介ブースなど、合わせて19のイベントを用意し、約6,000名の方に来場していただきました。

今年で12回目を迎えた消防フェアを通し、来場者からは、「普段見られない訓練や資器材に触れることができ、貴重な体験ができました。」「今日をきっかけに、いざという時の備えをしっかりと考えたいと思います。」などの声が聞かれ、消防の意義と理解を深めていただく良い機会になりました。



【イベント会場の様子】



【子ども渡過体験】

訓練・演習

◆ 「津久井警察署、神奈川県警察航空隊及び津久井消防署合同訓練」を実施 相模原市消防局（神奈川）

相模原市消防局津久井消防署では、平成30年10月24日（水）及び25日（木）の2日間、「津久井警察署、神奈川県警察航空隊及び津久井消防署合同訓練」を実施しました。

訓練では、津久井湖城山公園内で発生した山岳事故を想定し、神奈川県警察航空隊のヘリコプターによる要救助者の救出を行いました。

地上部隊のGPS情報をもとにヘリコプターが飛来し、要救助者を安全に吊り上げて搬送する一連の活動を、各関係機関が共通認識のもと、訓練が実施できたことにより、相互の連携強化に繋がりました。



【ヘリコプターによる救出訓練】

◆ コンクリートミキサー車と連携した消火用水供給支援訓練を実施 福山地区消防組合消防局（広島）

福山地区消防組合消防局では、平成30年11月1日（木）、広島県東部生コンクリート協同組合と合同で、大規模火災時における消火用水の供給支援に関する協定に基づき、コンクリートミキサー車との連携訓練を実施しました。

当消防局では、平成20年に公開された映画「崖の上のポニョ」で宮崎駿監督が構想を練った地として有名になった「^{とも}瀬の浦」の周辺地区が、平成29年に重要伝統的建造物群保存地区として指定されたことに伴い、木造建物密集地域における大規模火災への対策を進めているところです。

訓練では、日頃なじみのないコンクリートミキサー車の性能を学ぶとともに、その有効性や、消防隊との連携活動時における留意点などを検証することができ、とても有意義な訓練となりました。

今後も、関係機関との連携強化を図り、災害対応能力の向上に努めてまいります。



【訓練の様子】

◆ 隣接消防本部合同警防訓練を実施

西春日井広域事務組合消防本部（愛知）

西春日井広域事務組合消防本部では、平成30年11月7日（水）、春日井消防本部（愛知）の西山訓練場において、隣接消防本部合同警防訓練を実施しました。

当消防本部及び春日井市消防本部では、隣接応援協定に基づき、警防・救助・救急それぞれの部隊に特化した合同訓練を毎年実施しており、今年度の訓練では、当消防本部から消防隊一隊5名、春日井市消防本部から指揮隊一隊3名、消防隊一隊5名及び特別消火隊一隊4名が参加しました。

訓練は、春日井市内において、当消防本部との境界付近の耐火造2階建一般住宅から出火、当消防本部が応援協定に基づき出動し、連携して消火活動にあたるもの想定で行われました。

訓練終了後、両消防本部合同で検討会を実施し、先着隊と後着隊の役割の確認、そしてスムーズな連携活動について、忌憚のない意見が交わされました。

この合同訓練により、双方の交流及び実災害時において顔の見える関係が構築でき、今後、隣接地域で災害があった場合には、より安全かつ迅速な現場活動ができるようになったと思います。



【訓練の様子】

研修等

◆ 消防団セーフティ・ファーストエイド研修により消防団バイスタンダーを育成

長野市消防局（長野）

長野市消防局では、平成30年11月4日（日）、「最強のバイスタンダー」の育成を目的として、消防団セーフティ・ファーストエイド研修を実施しました。

研修には、厚生労働省DMAT事務局職員2名を講師としてお招きし、消防局救命士5名及び35名の消防団員が参加しました。

研修では、災害現場での被害拡大防止に重点を置いた状況評価及び安全管理について、実技を交えながら講義を実施した後、エマージェンシーバンテージを使用した圧迫止血及び救急隊との連携を想定した総合訓練を行いました。

地域住民により構成されている消防団は、時には救急隊より早く現場に到着していることがあります。早期の応急手当、的確な救急隊への申し送りをすることで、救急隊の支援ができるように指導を行いました。

限られた研修時間内で、内容の濃い充実した研修を行うことができました。



【研修の様子】

そ の 他

◆ **防火管理者・消防計画等の届出が短時間で出来るよう記入例・ひな型を作成**

豊田市消防本部（愛知）

豊田市消防本部では、防火管理者・消防計画等の変更に伴う届出書類の記入例・ひな形を作成しました。平成30年11月1日（木）より、当市ホームページからダウンロードできるようになりました。

全国的に、防火管理者の未選任及び書類の未届けとなっている防火対象物関係者への指導強化は、重点的に行われています。当市においても防火対象物における防火管理体制の充実が、喫緊の課題となっています。しかし、届出書類の作成、受理等の事務は、届出書を作成する市民はもちろん、書類の作成・提出に関して指導する職員にとっても大きな負担となっています。

そこで、当消防本部では、市民及び職員の負担軽減のため、届出書類の「記入例・ひな型」を見直しました。検証の結果、届出に要する時間が大幅に短縮され、業務改善による効果を実感しています。

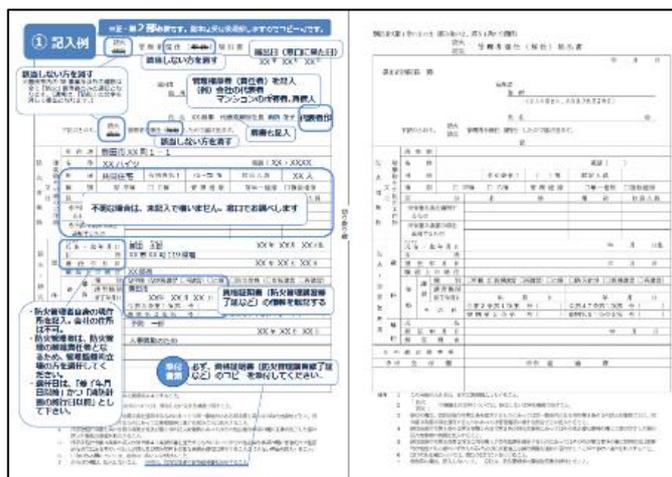
また、防火管理業務上、特に伝えたいことをまとめた「防災意識向上シート」を作成し、各種届出の提出完了時に消防訓練、消防用設備等の点検、防火管理者の引き継ぎ及び建築物増改築時の消防設備相談窓口の4点についてまとめたチラシを配布することにしました。

今回見直しを実施した記入例、ひな型等は当市ホームページに掲載してありますので、ご覧ください。

<http://www.city.toyota.aichi.jp/kurashi/shoubou/kisei/1002442/1027552.html>



【防災意識向上シート】



【防火管理者選任届出書の記載例（左）と原本（右）】

◆ 高規格救急自動車寄贈式を実施

銚子市消防本部（千葉）

銚子市消防本部では、平成30年11月2日（金）、高規格救急自動車の寄贈に伴い、寄贈式を実施しました。

当救急自動車は、週末にマリンレジャーで銚子市へ訪れるご縁で、東京都港区在住の飯島様から、「銚子市民や観光客などの救急活動に役立てて欲しい。」との意向により、この度、当消防本部に寄贈されました。

個人による救急自動車の寄贈は、当消防本部においては初めての事です。

寄贈された車両は、「YUTAKAエンジェル救急車」と命名され、救急車を目にする市民等に優しいイメージを持っていただけるよう、寄贈者の干支であるトラのキャラクターを車体に表示しました。

子供たちや市民等の救急車に対する関心を高め、救急業務の理解を深めて頂きます。



【寄贈式の記念写真】



【車体に表示されたトラのキャラクター】

◆ 劇団「theatre PEOPLE PURPLE」へ感謝状を贈呈

神戸市消防局（兵庫）

神戸市消防局は、平成30年11月4日（日）に開演された演劇「ORANGE（オレンジ）」の神戸公演上演後、劇団「theatre PEOPLE PURPLE（シアター ピープル パープル）」に対し、消防長感謝状を贈呈しました。

劇団「theatre PEOPLE PURPLE」の「ORANGE」は、阪神・淡路大震災で活動した神戸市消防局職員の体験談を基に、当時の消防士の葛藤を描いた演劇作品です。

平成16年の初演から、各学校や防災フォーラム、地方での公演など、様々な形で全国的に公演され続け、今年9月の東京公演で100回公演を迎えました。今までの動員客数は5万人を超え、多くの方に「震災」を通じて命をつないで生きていくことの重みや災害に備えることの大切さを伝承しています。

また、震災発生から23年が経ち、現在、当消防局で震災を経験していない職員は、全職員の半数を超え、この演劇作品を通し、震災での「思い」や「経験」を次の世代に継承しています。



【感謝状贈呈式の様子】

◆ 京都市消防局に新公式キャラクターが誕生♪

京都市消防局（京都）

京都市消防局では、平成30年11月9日（金）、京都市交通局のPRコンテンツ「地下鉄に乗るっ」シリーズとコラボした京都市消防局新公式キャラクター「二条 葵（にじょう あおい）」が誕生し、市営地下鉄駅構内や消防署等でのポスター掲出を始めました。

今後は、第47回全国消防救助技術大会（台風の影響に伴い中止）を契機に、大会広報及び公共交通機関の利用勧奨を目的として制作した消防局公式キャラクター「北山 駆（きたやま かける）」と共に、火災予防を呼び掛けるほか、京都市市民防災センターへの来館勧奨及び女性活躍推進のPRを実施してまいります。

両キャラクターの詳細については、京都市消防局ホームページから御確認ください。

<http://www.city.kyoto.lg.jp/shobo/page/0000244795.html>



【北山 駆】

【二条 葵】

消防学校からの便り

◆ 土砂埋没救助・トレンチレスキューを実施

静岡県消防学校（静岡）

静岡県消防学校では、平成30年10月30日（火）、専科教育救助科（第35期）の教育訓練として、一般社団法人清水建設業協会及び組合組織（鈴与建設株式会社）の協力を得て、土砂埋没救助及びトレンチレスキューを実施しました。

また、静岡県と「防災に関する相互応援協定」を締結している台湾新北市政府消防局の廖裕宏（りょうゆうこう）消防司令も、訓練に参加しました。

今回の訓練では、トレンチ（深さ1.5m、幅2.0m）に対する崩落防止措置及び土砂埋没者の救出活動を、訓練生が主体となり企画・活動しました。

当訓練を通じて、民間建設業者に消防活動を理解していただくとともに、訓練生は基本技術を再確認し、実災害に対する課題を見出すことができました。



【訓練の様子】

国等の動き

消防庁通知等

◆ 消防用設備等に係る執務資料の送付について（通知）

（平成30年11月2日、消防予第622号）

消防庁予防課長から各都道府県消防防災主管部長、東京消防庁・各指定都市消防長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

標記の件について、別添（省略）のとおり質疑応答をとりまとめましたので、執務上の参考としてください。

各都道府県消防防災主管部長におかれましては、貴都道府県内の市町村（消防の事務を処理する一部事務組合等を含む。）に対して、この旨周知していただきますようお願いいたします。

なお、本通知は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第37条の規定に基づく助言として発出するものであることを申し添えます。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

（http://www.fdma.go.jp/concern/law/tuchi3011/pdf/301102_yo622.pdf）に掲載されています。

| |
|---|
| 消防庁予防課設備係 担当：四維、馬場、畑澤 電話：03-5253-7523 FAX：03-5253-7533 |
|---|

◆ 「避難行動要支援者名簿」の作成及び名簿情報の平常時からの提供の促進等について

（平成30年11月5日、府政防第1233号・消防災第174号）

内閣府政策統括官（防災担当）付参事官（被災者行政担当）、消防庁国民保護・防災部防災課長から各都道府県消防防災主管部長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

今般、消防庁において、市町村の「避難行動要支援者名簿」の作成等に係る取組状況の調査結果について、別添（省略）のとおり取りまとめ、本日、報道発表を行いました。

内閣府及び消防庁においては、これまでも避難行動要支援者名簿（以下「名簿」という。）の作成及び名簿に記載又は記録された情報（以下「名簿情報」という。）の平常時からの提供の促進等に係る市町村の取組を推進してきたところです。

今回の調査結果によると、前回の平成29年6月1日時点と比較して、作成状況は改善しているものの、未だに名簿を作成していない市町村があります。

については、下記（省略）事項に御留意の上、未だに名簿を作成していない市町村における速やかな作成、平常時からの名簿情報の提供の促進等について、必要な取組を行うよう、貴管内市町村に対し、助言いただくようお願いいたします。

なお、本通知は、地方自治法（昭和22年法律第67号）第245条の4第1項に基づく技術的助言であることを申し添えます。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

（http://www.fdma.go.jp/concern/law/tuchi3011/pdf/301105_fuseibou1233_sai174.pdf）に掲載されています。

<問合せ先>

○内閣府政策統括官（防災担当）付参事官（被災者行政担当）付
山下参事官補佐、中村主査付

TEL：03-3501-5191 FAX：03-3502-6034

○消防庁国民保護・防災部防災課

外圍災害対策官、岡戸係長、豊田事務官

TEL：03-5253-7525 FAX：03-5253-7535

報道発表

◆ 避難行動要支援者名簿の作成等に係る取組状況の調査結果等

(平成30年11月5日、消防庁)

災害対策基本法の改正により、市町村による避難行動要支援者名簿の作成、名簿情報の避難支援等関係者への提供等の規定が設けられ、平成26年4月に施行されました。

この度、平成30年6月1日現在における各市町村の取組状況について調査を実施し、結果を取りまとめましたので公表します。(下記概要、別紙1(省略)参照)

また、本調査結果を受け、本日、消防庁では内閣府と連名で、各都道府県消防防災主管部長に対し、避難行動要支援者名簿の作成及び名簿情報の平常時からの提供の促進等について、通知を発出しましたので、併せて公表します。(別紙2(省略)参照)

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/houdou/h30/11/301105_houdou_1.pdf) に掲載されています。

(連絡先) 消防庁国民保護・防災部防災課
外圍災害対策官、岡戸防災調整係長、豊田事務官
Tel 03-5253-7525 (直通) Fax 03-5253-7535

◆ 平成30年秋季全国火災予防運動の実施

(平成30年11月6日、消防庁)

平成30年11月9日(金)から11月15日(木)まで『平成30年秋季全国火災予防運動』が全国各地で実施されます。

1 全国統一防火標語

『忘れてない? サイフにスマホに火の確認』

2 目的

火災が発生しやすい時季を迎えるに当たり、火災予防意識の一層の普及を図ることで、火災の発生を防止し、高齢者等を中心とする死者の発生を減少させるとともに、財産の損失を防ぐことを目的として、毎年この時期に実施しているものです。

3 実施期間

平成30年11月9日(金)～11月15日(木)

4 実施内容

5の「重点目標」を踏まえ、全国の消防本部等において、防火・防災に関する広報や展示、体験型イベントなどのほか、学校、事業所等と協働した防火講習や消防訓練、防火査察など、火災予防を推進するための様々な取組が重点的に実施されます。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/houdou/h30/11/301106_houdou_2.pdf) に掲載されています。

【問い合わせ先】
消防庁予防課 島村・柏原
TEL : 03-5253-7523
FAX : 03-5253-7533

情報提供

◆ ミサワホーム 会員（消防職員）専用リーフレットについて

一般財団法人 全国消防協会

一般財団法人 全国消防協会の指定店登録業者であるミサワホーム株式会社では、会員（消防職員）の皆様が、住宅の建築またはリフォームをする際に3%の提携割引が受けられる特典を実施しており、本特典とプレゼントがもれなくもらえるキャンペーンを掲載した新しい専用リーフレットを作成しました。

つきましては、ミサワホームより各消防本部（局）へ本リーフレットについてのご案内を行うことがありますので、貴本部（局）の職員の皆様にご周知いただきますよう、ご理解とご協力をお願い申し上げます。



【問い合わせ先】

業務課

担当：河野、石井（健）

電話：03-3234-1321

◆ 知的障害者施設等に活用する自衛消防訓練マニュアルを作成

東京消防庁（東京）

東京消防庁東村山消防署では、管内の知的障害者施設等を対象に、SST（ソーシャルスキルトレーニング）を採用した自衛消防訓練マニュアルを作成し、自衛消防訓練を促進しています。

当マニュアルは、白梅学園大学教授等の知的障害者に対する指導方法に関する専門家のアドバイスを受けて作成され、複数の施設における試行・検証を経て完成し、利用された施設からは、「分かり易く、効果があった」という感想をいただいております。

東京消防庁では、本年10月から様々な団体にお知らせし、都内だけでなく全国的に普及を図っていますので、各消防本部（局）におかれましても、是非ご活用ください。

東村山消防署のホームページからダウンロードできます。

<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-higasimurayama/zieisyobokunrenmanyuaru/toptitekisyougai.html>

【SST（ソーシャルスキルトレーニング）とは！？】

人が社会で生きていく上で必要な技術を習得するための訓練のことで、絵とその絵が表す出来事が短い文章として書かれており、それを読んだり、読み聞かせたりすることで、その場面での行動を学んでいくというものです。

災害発生時のイラストに、「その時にすべき行動」や「その時にしてはいけないこと」が短い文章で書かれており、災害発生時に自分の身を守るための行動を学んでいくものです。



【マニュアルの一部抜粋】

機関誌「ほのお」記事募集

一般財団法人 全国消防協会では、平成31年5月を目途に機関誌「ほのお」を一部改編することとしており、次のとおり試行（2019年3号までの試行）として、新しいコーナーの記事を募集しています。

- ① 知識・技術の伝承-教えて！消防技術-
- ② 女性職員の活躍・推進

執筆要領等の詳細は、週間情報No.3032又は機関誌「ほのお」2018年9号29頁を参照願います。

なお、消防ワイドについても随時、記事を募集しておりますので、引き続きご投稿お待ちしております。※消防ワイドは、150文字程度 of 原稿及びJPEG画像データをhonoo@ffaj-shobo.or.jpに送信願います。

TEL：03-3234-1321（機関誌「ほのお」担当：原）

週間情報への投稿は企画課へ！

週間情報では、各本部の身近な情報を掲載していますので情報をお寄せ下さい。

TEL：03-3234-1321 / E-mail：weekly@fcj.gr.jp

記事の投稿に関する注意点

- ・配信日（原則火曜日）から2週間以内のイベント、訓練等を中心に掲載しています。
- ・文章は、Wordで200字～400字程度で作成をお願いします。
- ・写真は、1枚～2枚をWordに貼り付けて送付してください。
（貼り付けできない場合は、JPEG画像データを送付してください。）
- ・掲載が決定した場合のみ、担当者よりメールを返信させていただきます。